

科目名	デッサン基礎B								年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 1 年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習	
担当教員	伊藤泰雅、岩崎拓也、伊東明日香、青木聖吾、藤田貴也			教員の実務経験	無	実務経験の職種		画家		
【科目の目的】										
基礎的な描画技法を学び、対象物の正確な描写（構図、明暗の諧調、質感、量感、遠近感など）ができるようになること										
【科目の概要】										
人物の基礎的な描画技法などを学び、描画力を高めます。										
【到達目標】										
デッサンの基本的要素（構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など）を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力（観察眼）を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。色彩を用いてデッサンの基本的要素（構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など）を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともにものを見る力（観察眼）を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。彩色画の基本的なテクニックを身につける。										
【授業の注意点】										
授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、水彩色鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	構図を決め、あたりを付け、形をとる事が優れている		構図を決め、あたりを付け、形をとる事が出来ている		構図を決め、あたりを付け、形をとる事が出来ない					
到達目標 B	鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けが優れている		鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けを理解している		鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けが出来ていない					
到達目標 C	石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が優れている		石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が出来ている		石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が不足している					
到達目標 D	グラデーション、陰影の表現の理解し、描く事が出来る		グラデーション、陰影の表現の理解が出来ている		グラデーション、陰影の表現の理解が不足している					
到達目標 E	スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える能力が優れている		スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える事が出来ている		スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える能力が十分ではない					
【教科書】										
参考書・参考資料等は授業中に指示する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デッサン基礎B			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ボールを持った手の描画	異なる質感の物をキャンバス内で描き分けできるようになる	人体構造の理解	物を持った手を描けるようになる	2	
			質感表現の対比	質感表現の対比とパースペクティブの理解		
2	靴の形態、陰影、質感 1	靴を描けるようになる、ディテールまで意識を向ける	靴の形態	靴を的確に描けるようになる	2	
			靴の陰影	濃淡による陰影、質感を描けるようになる		
			靴の質感	ディテールまで意識を向ける		
3	靴の形態、陰影、質感 2	靴を描けるようになる、ディテールまで意識を向ける	靴の形態	立体を考えながら完成させる	2	
			靴の陰影			
			靴の質感			
4	人物クロッキー	人体(全身)のバランスを知ることが出来る	人体構造の理解	対象を短時間で描けるようになる	2	
			重心に意識を向ける	身体の形と全身の比率を理解する		
5	人物写真の模写、転写 1	グリッド線への理解	グリッド線の活用	正確な形や配置を知る為のグリッド線を理解できる	2	
				デッサンスケールの活用に繋げることが出来る		
6	人物写真の模写、転写 2	グリッド線への理解	グリッド線の活用	形や配置を確認しながら完成させる	2	
7	カップとスプーンの描画 1	複数モチーフの正確な形や配置を描画する	形態/陰影/質感/配置	組み合わせられた複数モチーフを正確に描けるようになる	2	
			デッサンスケールの活用	スケールを使い、正確な形や配置を取れるようになる		
			質感表現の対比	質感表現の対比とパースペクティブへの再認識		
8	カップとスプーンの描画 2	複数モチーフの正確な形や配置を描画する	形態/陰影/質感/配置	形や配置を確認しながら完成させる	2	
			デッサンスケールの活用			
			質感表現の対比			
9	石膏首像の描画 1	グレースケールへの理解	理想的人体構造の学習	石膏首像を的確に描けるようになる	2	
			面取りの習得	大きなモチーフの描画方法を理解できる		
			構造と明暗の表現	構造と明暗を濃淡で表現する方法への再認識		
10	石膏首像の描画 2	グレースケールへの理解	理想的人体構造の学習	形や明暗を確認しながら完成させる	2	
			面取りの習得			
			構造と明暗の表現			
11	静物の描画 1	複数モチーフの正確な形や配置を描画する	形態/陰影/質感/配置	組み合わせられた複数モチーフを正確に描けるようになる	2	
			デッサンスケールの活用	全体を捉える力、正確な形や配置を取れるようになる		
			質感表現の対比	質感表現の対比とパースペクティブの応用		
12	静物の描画 2	複数モチーフの正確な形や配置を描画する	形態/陰影/質感/配置	形や配置を確認しながら完成させる	2	
			デッサンスケールの活用			
			質感表現の対比			
13	人物デッサン 1	人体(全身)が描けるようになる	人体構造の理解	人物(全身)を正確に描けるようになる	2	
			重心に意識を向ける	身体の形と全身の比率を理解する		
				姿勢を保つ為のバランス、重心を理解する		
14	人物デッサン 2	人体(全身)が描けるようになる	人体構造の理解	構造と重心を確認しながら完成させる	2	
			重心に意識を向ける			
15	まとめ	各講義の復習と補講	1-14回までの復習		2	
			補講	各講義の補講を行い問題点を解決する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等